安全管理重点確認監査チェックシート（児童館）

記入日：令和 年 月 日（ ）

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名： | 記入者（職・氏名）： |

**１ 危機管理体制**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認事項 | ☑ | 自由記載欄該当項目に☑、（ ）内に記入 |
| (1)共通理解 |
| 安全管理に関する責任者を設定しているか。 |[ ]   |
| 職員は、緊急時の役割分担と担当する順番・順位をそれぞれ把握しているか。 |[ ]   |
| 子どもの安全確保に関し、職員会議などで職員間の共通理解を図っているか。（各種マニュアルや事案の共有、機器及び備品の使用方法など） |[ ]   |
| (2)避難経路 |
| 職員及び子どもに避難経路を周知しているか。 |[ ]  [ ] 施設内に避難経路図の掲示[ ] その他（ ） |
| 非常災害対策計画等による近隣の避難場所を把握しているか。 |[ ]   |
| 保護者や関係機関への連絡方法を把握しているか。 |[ ]   |
| (3)施設外活動 |
| 交通安全指導を実施しているか。 |[ ]  交通安全指導実施日（ 年 月 日）マニュアル [ ] 有 [ ] 無その他（ ） |
| 施設外での活動、取組等のための移動その他の子どもの移動のために自動車を運行する場合に、子どもの乗車及び降車の際に、点呼その他の所在を確実に把握することができる方法により、子どもの所在を確認しているか。 | [ ]  |  |
| 子どもが行方不明となった場合の対応マニュアル（フローチャート等）を作成しているか。 | [ ]  |  |
| (4)保険 |
| 保険に加入しているか。 | [ ]  | [ ] 施設賠償責任保険[ ] 受託物賠償責任保険[ ] 傷害保険[ ] 個人情報漏洩保険[ ] その他（ ） |

**２　事故報告**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認事項 | ☑ | 自由記載欄 |
| 事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しているか。 | [ ]  |  |
| 事故やケガの発生時に直ちに保護者へ報告しているか。 | [ ]  |  |
| 事故発生時には、原則当日（遅くとも翌日）に当該事実を市町村担当課に報告しているか。 | [ ]  |  |

**３　防犯**

| 確認事項 | ☑ | 自由記載欄該当項目に☑、（ ）内に記入 |
| --- | --- | --- |
| 施設・設備や地域環境の安全点検、職員への情報共有を含めた防犯対策マニュアルを策定しているか |[ ]   |
| 来所者の確認を実施しているか。 |[ ]  記録　[ ] 有　[ ] 無 |
| 非常通報装置及び防犯システムを設置しているか。 |[ ]  システムの通報先[ ] 警察 [ ] 消防 [ ] 警備会社[ ] その他（ ） |
| 定期的な防犯訓練・防犯対策研修を実施しているか。 |[ ]   年 月 日 |
| 防犯対策備品を常備しているか。 |[ ]  [ ] さすまた [ ] 笛[ ] カラーボール [ ] 棒・木刀[ ] 防犯スプレー・催涙ガス[ ] 非常・防犯ベル[ ] 監視カメラ[ ] その他（ ） |

**４　危険・事故防止対策**

| 確認事項 | ☑ | 自由記載欄該当項目に☑、（ ）内に記入 |
| --- | --- | --- |
| (1)建物・設備 |
| 建物、外壁、囲障(ブロック塀)、設備の安全点検は行われているか。また、老朽化しているもの、危険な箇所を把握しているか。 |[ ]  建物・設備等安全点検実施日（ 年 月 日）危険箇所（ ）整備予定（ ） |
| 施設内のドアやピアノの鍵盤蓋には指ばさみ防止がなされているか。 |[ ]   |
| 家具の角などに安全対策を行っているか。 |[ ]   |
| (2)防震・落下物・転倒 |
| 地震の際等に落下の危険がある重量物等を棚の上、壁面収納（引き戸等で地震の際に開く危険性がないものを除く）等に置いていないか。 |[ ]   |
| 子どもが引っ張ることができるテーブルクロス等がないか。 |[ ]   |
| 家具やテレビ、ピアノ等について、転倒・移動防止策が行われているか。 |[ ]   |
| (3)転落 |
| 窓の近くに足場となるような物を置くなど、子どもの高所からの転落につながるような箇所がないか。 |[ ]   |
| (4) 暖房器具・電気 |
| 子どもが電気コンセント、ガスコンセント等に触れることができる状態になっていないか。 |[ ]   |
| 暖房器具の固定し、子どもが燃焼部を触れないように覆っているか。 |[ ]   |
| (5)閉じ込め |
| 子どもが入り込み、所在がわからなくなるような場所や死角となるような場所はないか。（保育室内、玄関、非常口、階段、通路、窓、調理室、便所、浴室、ベランダ、園庭、門扉など） |[ ]   |
| 上記のような場所に子どもがだけが侵入できないよう施錠しているか。 |[ ]   |
| (6)屋外活動 |
| 屋内、屋外の遊具の日常の安全点検は、安全点検簿等を設け、毎日実施されているか。また、老朽化しているもの、危険な箇所を把握しているか。 | [ ]  | 危険箇所（ ）整備予定（ ）動物飼育　[ ] 有 [ ] 無(種類:　 ) |
| 動物による事故防止に注意が払われているか。スズメバチやマダニなど害虫が発生していないか。 | [ ]  |  |
| (7)その他 |
| 事故防止に対する研修・訓練を実施しているか。 |[ ]  研修実施日（ 年 月 日）講習等実施日（ 年 月 日）マニュアル [ ] 有 [ ] 無危険箇所一覧 [ ] 有 [ ] 無共有方法（ ） |
| 事故発生時に適切な救命措置が可能となるよう消防署職員による救命救急講習や事故対応に関する実践的な訓練を実施しているか。 |[ ]   |
| 事故防止マニュアル（事故発生時の対応を含む。）、危険箇所一覧を作成し、事故やヒヤリハット事例等を踏まえて適宜見直しを行い、その内容を職員間で共有しているか。 |[ ]   |

**５　虐待等の禁止**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認事項 | ☑ | 自由記載欄該当項目に☑、（ ）内に記入 |
| (1)未然防止 |
| 障がい児を含め、子どもに対する虐待やその心身に有害な影響を与える行為の防止、子どもの人権への配慮及び職員倫理の醸成に係る話し合い、研修等を実施しているか。 |[ ]  マニュアル [ ] 有 [ ] 無その他（ ） |
| 虐待防止担当者の設置や虐待が疑われる場合の報告プロセスの整備等、虐待が生じないような職場環境を整備しているか。 |[ ]   |
| (2)発生時の対応 |
| 施設内で不適切な保育が疑われる事案が発生した際、事案を早期に把握するための相談・連絡する体制を整備しているか。 |[ ]  マニュアル [ ] 有 [ ] 無その他（ ） |
| 施設内で不適切な保育が疑われる事案を確認した際、速やかに市町村に相談・連絡する体制を整備しているか。 |[ ]   |
| 不自然な傷、やけど、身体や下着の汚れ具合などの観察を行い、虐待や不適切な養育の早期発見に努め、家庭での虐待が疑われる事案が発生した際、事案を早期に把握するための相談・連絡する体制を整備しているか。 |[ ]   |
| 家庭での虐待が疑われる事案を確認した際、速やかに市町村又は児童相談所に相談・連絡する体制を整備しているか。 |[ ]   |